

# よんでネット\* 冬号

発行口茅ヶ崎市立図書館/協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

## 「四つの人形のおはなし3 クリスマスの女の子」

ルーマー・ゴッデン 作  
久慈美貴 訳 たかおゆうこ 絵



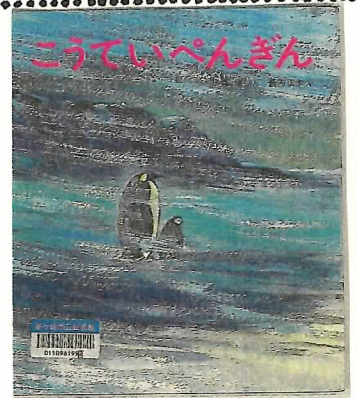
徳間書店 (9333) ㊦

クリスマスの前の晩。6さいの女の子アイビーは、ひとりぼっち。「へいきだもん」とつよがりながら、知らない町をあるいていました。その時、おもちゃ屋のウィンドウの中で「だれがおうちにつれてって」といっている、かわいいお人形のホリーと、目があいました。四つの人形のおはなし。全4冊

## 「こうていペンギん」

小森 厚ぶん 萩内 正幸 え

なんきょくたいりくは一年じゅうさむい。なつでもゆきがとけない。こんなさむさにも負けずに暮らしているのが、こうていペンギん。おそろしいゆきあらしの中で、ひなたちが大きくなるのはたいへんだ。



福音館書店 (483)

## 「こぶたのおまわりさん」

シーブ・セーディング 作  
石井登志子 訳



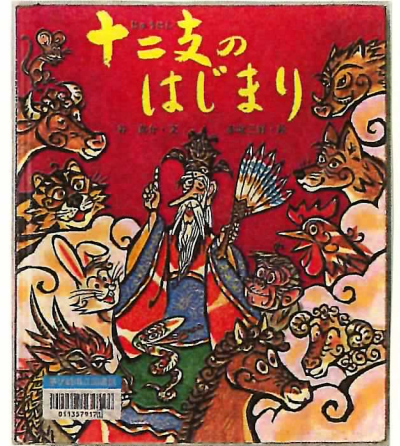
いわみひろん 岩波書店 (949セ)

こぶたがすんでいる小さな村で、大じけんがおこりました。たんじょう日のおいしいケーキが つぎつぎとぬすまれたのです。ケーキどろぼうをみつけるため、鼻のいいこぶたはおまわりさんのぼうしをかぶって、はんにんさがしをてついただきます。こぶたのおまわりさんがみつけたはんにんは…!?

# 「十二支のはじまり」

谷 真介 文 赤坂三好 絵

むかし、ある年のくれにかみさまが どうぶつたちに  
 「元日のあさ しん年のあいさつにきなさい。一ばんはやく  
 きたものから 十二ばんまで じゅんばんに 一年かんずつ  
 みんなのまにまにしておやろう」と。あたらしい年のあさ、  
 うしはあるくのがおそいので くらいうちにでかけました。  
 門のまえで 一ばんだったはずなのに だれかがぴよんと…。



佼成出版社 [E・絵本のコーナー]

# 「ちびドラゴンのおくりもの」

イリーナ・コルシュノフ 作  
 酒寄進一 訳 伊東寛 絵

ハンノーはふとちよでおくびょうな  
 男の子。公園でとつぜん土のなかから  
 とびだしたドラゴンとくらすようになって  
 かわりました。ドラゴンはランドセルに  
 はいるくらいちいさくハンノーにしか  
 みえません。なんでもしりたがりやで  
 ハンノーはせかされていっしょに  
 うたったり、おどったり、でんぐりがえ  
 しも、字のかきかたもやっているうちに…。

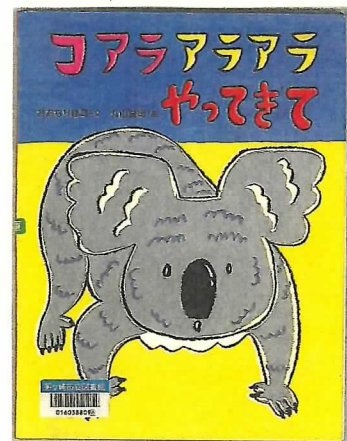


こくどしゃ 国土社 [943 コ]

# 「コアラ アラアラ やってきて」

おおなり修司 文 丸山誠司 絵

コアラ アラアラ やって来た。  
 木から落ちて来た こどもコアラを  
 受け止めて、  
 コアラ ホラホラだいじょうぶ。  
 バク バクバク  
 アルマジロ ジロジロ…  
 つぎつぎ どうぶつやってくる。  
 どうぶつ いがいもやってくる。  
 グツグツ、どしどし、きこえてくる  
 のは、さてさてなんの音でしょう？



えほんかん 絵本館 [E・絵本のコーナー]